



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東  
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	114,660	△8.9	8,696	1.6	8,856	5.9	6,048	△20.0	5,532	△20.7	7,404	54.9
28年3月期第3四半期	125,855	11.1	8,558	42.4	8,364	△12.0	7,557	25.3	6,976	31.2	4,779	△67.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	110.24	—
28年3月期第3四半期	139.01	—

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	
29年3月期第3四半期	165,964	116,633	111,927	67.4	2,230.16
28年3月期	159,212	112,596	107,010	67.2	2,132.18

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△10.4	10,000	2.7	8,000	△1.5	6,000	△13.1	5,500	△10.8	109.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	52,644,030株	28年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,455,809株	28年3月期	2,455,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	50,188,265株	28年3月期3Q	50,188,462株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	3
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(7) セグメント情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、米国において四輪車用クラッチの販売台数は増加しましたが、円高の影響やインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は114,660百万円（前年同期比8.9%減）となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、原価低減等の効果に加え、前第1四半期に計上した生産管理システムの開発中止に伴う減損損失の影響が無くなったこともあり8,696百万円（前年同期比1.6%増）となりました。税引前四半期利益は8,856百万円（前年同期比5.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,532百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (二輪車用クラッチ)

円高の影響やインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は53,494百万円（前年同期比12.2%減）となりました。営業利益は、主にインドネシアの原価低減等の効果や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり5,981百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

#### (四輪車用クラッチ)

米国において四輪車用クラッチの販売台数は増加しましたが、円高の影響もあり、売上収益は61,166百万円（前年同期比5.8%減）となりました。営業利益は、円高の影響や米国の立上げ費用が増加したものの、メキシコの増収効果や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり2,714百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

#### (日本)

円高の影響や四輪車用クラッチの販売の減少により、売上収益は16,811百万円（前年同期比7.9%減）となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり1,009百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

#### (米国)

四輪車用クラッチの販売台数は増加しましたが、円高の影響もあり、売上収益は42,286百万円（前年同期比8.7%減）となりました。営業利益は、円高の影響や立上げ費用の増加により607百万円（前年同期比58.4%減）となりました。

#### (アジア)

円高の影響やインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は53,193百万円（前年同期比10.6%減）となりました。営業利益は、主にインドネシアにおける原価低減等の効果により6,702百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

#### (その他)

ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したものの、メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したことにより、売上収益は2,369百万円（前年同期比31.6%増）となりました。営業損益は、ブラジルの減収影響があったものの、メキシコの増収効果により33百万円の営業損失（前年同期は449百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び資本の状況

##### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は72,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,358百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が1,531百万円増加したことによるものであります。

##### (非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は92,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,394百万円増加しました。これは主に有形固定資産が4,375百万円増加したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は33,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,567百万円増加しました。これは主に借入金が2,689百万円増加したことによるものであります。

(非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は15,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ852百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が1,452百万円、その他の金融負債が638百万円それぞれ増加したものの、借入金が3,300百万円減少したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は116,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,037百万円増加しました。これは主に利益剰余金が3,524百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は24,981百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は19,777百万円となり、前年同期に比べ1,069百万円増加しました。これは主に棚卸資産が1,453百万円増加したものの、法人所得税の支払額が3,242百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,593百万円となり、前年同期に比べ829百万円減少しました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1,998百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,495百万円となり、前年同期に比べ5,282百万円減少しました。これは主に短期借入金の純増額が2,461百万円、長期借入れによる収入が1,874百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月31日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,450	24,981
営業債権及びその他の債権	25,398	24,474
その他の金融資産	905	2,307
棚卸資産	18,007	18,910
その他の流動資産	3,873	2,319
流動資産合計	71,635	72,993
非流動資産		
有形固定資産	72,066	76,441
のれん及び無形資産	2,716	3,215
持分法で会計処理されている投資	542	136
その他の金融資産	8,632	9,418
繰延税金資産	3,126	3,182
その他の非流動資産	492	576
非流動資産合計	87,576	92,970
資産合計	159,212	165,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	13,981	13,790
借入金	9,887	12,576
その他の金融負債	—	97
未払法人所得税	1,517	1,971
その他の流動負債	4,883	5,400
流動負債合計	30,269	33,836
非流動負債		
借入金	8,426	5,125
その他の金融負債	29	667
退職給付に係る負債	1,903	2,196
引当金	36	36
繰延税金負債	5,688	7,141
その他の非流動負債	262	326
非流動負債合計	16,346	15,494
負債合計	46,616	49,331
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	99,720	103,245
自己株式	△3,408	△3,409
その他の資本の構成要素	6,523	7,915
親会社の所有者に帰属する持分合計	107,010	111,927
非支配持分	5,585	4,705
資本合計	112,596	116,633
負債及び資本合計	159,212	165,964

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益	125,855	114,660
売上原価	△105,453	△96,511
売上総利益	20,402	18,149
販売費及び一般管理費	△10,552	△9,849
その他の収益	424	589
その他の費用	△1,715	△192
営業利益	8,558	8,696
金融収益	684	524
金融費用	△876	△357
持分法による投資損益	△2	△7
税引前四半期利益	8,364	8,856
法人所得税費用	△807	△2,807
四半期利益	7,557	6,048
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,976	5,532
非支配持分	580	515
四半期利益	7,557	6,048
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	139.01	110.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—



(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	7,557	6,048
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	5	△3
計	5	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	103	596
在外営業活動体の換算差額	△2,886	815
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	△52
計	△2,783	1,359
その他の包括利益合計	△2,777	1,356
四半期包括利益	4,779	7,404
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,692	6,922
非支配持分	87	482
四半期包括利益	4,779	7,404

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	売却可能金融 資産の公正価 値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	4,175	—	95,864	△3,408	8,960	4,597
四半期利益	—	—	6,976	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,394	105
四半期包括利益合計	—	—	6,976	—	△2,394	105
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△2,007	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	—	4	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△2,003	△0	—	—
2015年12月31日時点の残高	4,175	—	100,837	△3,408	6,565	4,703

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再 測定	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	—	13,558	110,190	6,131	116,321
四半期利益	—	—	6,976	580	7,557
その他の包括利益	4	△2,284	△2,284	△493	△2,777
四半期包括利益合計	4	△2,284	4,692	87	4,779
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,007	△561	△2,569
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	△4	△4	—	—	—
所有者との取引額合計	△4	△4	△2,008	△561	△2,569
2015年12月31日時点の残高	—	11,269	112,874	5,657	118,531

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	売却可能金融 資産の公正価 値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年4月1日時点の残高	4,175	—	99,720	△3,408	2,907	3,615
四半期利益	—	—	5,532	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	804	588
四半期包括利益合計	—	—	5,532	—	804	588
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△2,007	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	2	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	—	△3	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△2,008	△0	—	—
2016年12月31日時点の残高	4,175	—	103,245	△3,409	3,711	4,204

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再 測定	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年4月1日時点の残高	—	6,523	107,010	5,585	112,596
四半期利益	—	—	5,532	515	6,048
その他の包括利益	△3	1,389	1,389	△33	1,356
四半期包括利益合計	△3	1,389	6,922	482	7,404
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,007	△1,359	△3,366
持分変動に伴う増減額	—	—	2	△3	△0
その他の資本の構成要素 からの振替	3	3	—	—	—
所有者との取引額合計	3	3	△2,005	△1,362	△3,367
2016年12月31日時点の残高	—	7,915	111,927	4,705	116,633

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,364	8,856
減価償却費及び償却費	8,986	8,509
減損損失	1,486	—
金融収益及び金融費用	△569	△307
持分法による投資損益(△は益)	2	7
固定資産除売却損益(△は益)	36	△48
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,122	△331
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△61	987
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△399	153
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	210	261
その他	1,654	1,460
小計	20,834	19,549
利息及び配当金の受取額	386	212
利息の支払額	△189	△144
法人所得税の支払額	△4,980	△1,738
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	2,657	1,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,707	19,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△859	△1,677
定期預金の払戻による収入	954	392
有形固定資産の取得による支出	△13,904	△11,906
有形固定資産の売却による収入	148	160
無形資産の取得による支出	△727	△923
無形資産の売却による収入	2	—
関係会社の清算による収入	—	369
貸付けによる支出	△116	△92
貸付金の回収による収入	154	144
投資の取得による支出	△40	△40
投資の売却による収入	—	0
その他	△34	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,422	△13,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,457	△1,003
長期借入れによる収入	1,874	—
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	—	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,983	△1,988
非支配株主への配当金の支払額	△561	△1,357
その他	—	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	786	△4,495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,071	1,688
現金及び現金同等物の期首残高	17,557	23,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△908	△156
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,720	24,981

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	60,942	64,913	125,855	—	125,855
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	60,942	64,913	125,855	—	125,855
減価償却費及び償却費	△3,519	△5,466	△8,986	—	△8,986
その他の損益	△51,514	△56,796	△108,311	—	△108,311
営業利益	5,908	2,649	8,558	—	8,558
金融収益					684
金融費用					△876
持分法による投資損益					△2
税引前四半期利益					8,364

(注) その他の損益には、減損損失1,486百万円（二輪車用クラッチ759百万円、四輪車用クラッチ726百万円）が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	53,494	61,166	114,660	—	114,660
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	53,494	61,166	114,660	—	114,660
減価償却費及び償却費	△3,115	△5,394	△8,509	—	△8,509
その他の損益	△44,397	△53,056	△97,454	—	△97,454
営業利益	5,981	2,714	8,696	—	8,696
金融収益					524
金融費用					△357
持分法による投資損益					△7
税引前四半期利益					8,856

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

外部顧客からの売上収益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
	百万円	百万円
日本	13,599	13,100
米国	48,506	44,425
インドネシア	14,819	12,499
インド	15,119	14,092
その他	33,810	30,541
合計	125,855	114,660

- (注) 1. 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。  
 2. その他の区分に属する主な国は、タイ、中国、ブラジル及びベトナムであります。